

第2学年 国語科 学習の指針（シラバス）

1. 教科の目標

- (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

2. 学習計画

学期	学 習 活 動	学 習 の ね ら い
1 学 期	虹の足 質問する力をつける タオル 活用のない自立語 新聞の投書を書く まちがえやすい漢字 日本の花火の楽しみ 水の山 富士山 説得力のある提案をす てる 敬語 構成を明確にして手紙 を書く 話し言葉と書き言葉 観点を明確にして伝える 脚本で動きを説明する 漢字の成り立ち 夏の葬列	<ul style="list-style-type: none"> ・ 見えている「虹の足」とおして、見えていない「虹の足」について考える。 ・ 伝え合う内容を検討して、よりよい質問をする。 ・ 文学的な表現を通じて語感を磨き、語彙を豊かにする。 ・ 登場人物の設定の仕方や言動の意味などについて考え、作品を解釈する。 ・ 少年の気持ちの変化を捉え、表現の効果を考える。 ・ 活用のない自立語のはたらきを理解する。 ・ 多様な方法で材料を集める。 ・ 社会生活の中から題材を選んで書く。 ・ 似た形やまちがえやすい漢字についての理解を深める。 ・ 図や写真と文章とを関連づけながら内容を捉える。 ・ 説明の仕方という観点に着目しながら読み比べる。 ・ 花火の魅力について、筆者の考えを捉え、自分の考えをまとめる。 ・ 富士山の恵みについて、筆者の考えを捉え、自分の考えをまとめる。 ・ 話の構成を効果的に組み立てて話す。 ・ 根拠の適切さに注意しながら、意見と根拠を分けて話す。 ・ 敬語のはたらきや特徴について知る。 ・ 相手に対して適切に言葉を選ぶ。 ・ 書く内容を整理し、自分の考えをまとめる。 ・ 話し言葉と書き言葉の、それぞれの特徴を捉える。 ・ 集めた情報を整理して関係を理解し、適切に活用して課題を解決する。 ・ 図表やグラフ、写真などを用いて、聞き手にわかりやすく伝える。 ・ 小説と脚本を構成する情報を整理し、それぞれの効果について考える。 ・ 小説と脚本の違いを理解し、小説を脚本に書きかえる。 ・ 漢字の成り立ちについての理解を深める。 ・ 人物の描写や人称代名詞に着目し、その役割や効果について理解する。 ・ 時間の順序に留意し、人物の心情の変化や言動の意味について考え、作品を解釈する。 ・ 作品の構成や展開、表現の効果について考えを深める。

<p>2 学 期</p>	<p>紙の建築</p> <p>根拠をもとに意見文を書く 活用のある自立語 敦盛の最期 [平家物語]</p> <p>随筆の味わい [枕草子・徒然草] 孔子の言葉 [論語]</p> <p>短歌の味わい 映像作品の表現を考える 漢字の多義性 ガイアの知性</p> <p>記事を書く 相違点を明確にして書く</p> <p>書写</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事例の役割や効果を確かめながら読む。 ・事例と主張を関連づけて読み、筆者の行動とそれを支える考え方を捉える。 ・筆者の考えを踏まえ、社会との関わりについて自分の考えを広げたり深めたりする。 ・多様な考え方がある問題について根拠をもとに推論して考える。 ・考えの理由づけを示して意見文を書く。 ・用言の活用と種類・用法を理解する。 ・登場人物の言動や心情について話し合い、作品の理解を深める。 ・文章の特徴を生かして朗読し、物語に親しむ。 ・古人のものの見方や考え方に対して、自分の考えをもつ。 ・言葉の意味を正確に捉えながら読み、作者の思いを想像する。 ・表現を確かめながら、内容について自分の考えをまとめる。 ・文章の特徴を生かしながら音読したり暗唱したりして、漢文の表現に慣れる。 ・情景や心情を掘り起こし、声に出して短歌を読む。 ・絵コンテを構成をする情報を整理し、それぞれの効果について考える。 ・漫画と絵コンテの描写の違いを理解する。 ・漢字の多義性について理解を深める。 ・筆者が用いる語句の意味を捉える。 ・筆者の主張と具体的な事例との関係を捉える。 ・自然や知性に対する筆者の考え方について、自分のもつ知識や経験と結びつけ、考えをまとめる。 ・情報がわかりやすく伝わるように、文章や見せ方を工夫する。 ・論理の相違点に注意しながら聞く。 ・話し手の考えと自分の考えを比較したり、質問したりしながら、自分の考えをまとめる。 ・行書の筆使いを理解して書くことができる。 ・行書の特徴を理解してかくことができる。
<p>3 学 期</p>	<p>走れメロス</p> <p>学ぶ力</p> <p>よりよい結論を導く討論をする 付属語のいろいろ 豚 類義語・対義語・多義語・同音語 「連作ショートショート」を書く ・同音の漢字</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・抽象的な概念を表す語句の量を増やし、自分の表現に役立てる。 ・人称の変化に着目し、人物の心情や言動の変化を表すうえでの役割や効果を捉える。 ・登場人物や語り手のものの見方や考え方について理解し、自分の考えを深める。 ・筆者の述べる事実と主張の関係を捉える。 ・本文の「述べ方」や表現の工夫に着目し、筆者の主張を捉える。 ・本文から捉えたことや考えたことを自分の知識や経験と関連づけ、考えを広げたり深めたりする。 ・結論を導くために、相手の立場に立って推論しながら、意見を述べる。 ・互いの立場や考えを尊重しながら話し合う。 ・付属語にはどのようなものがあるのかを知る。 ・詩の構成や展開を踏まえ、詩の世界を豊かに想像する。 ・日常の生活で使う言葉を、いつもと違った視点から捉え直す。 ・表現したい内容に合った言葉を選び、語彙を豊かにする。 ・物語の構成をや展開を意識して書き、表現の工夫や効果について考える。 ・同音の漢字についての理解を深める。

3. 評価

項目	評価の内容	評価の方法
知識・技能	言葉の特徴や使い方、情報の扱い方、我が国の言語文化についての知識及び技能を習得しているか。それらを関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できるか。	<ul style="list-style-type: none">○ 定期テスト○ 小テスト○ 習字
思考・判断・表現	知識及び技能を活用して課題を解決するために必要な「話す力・聞く力」、「書く力」、「読む力」を身に付けているか。	<ul style="list-style-type: none">○ テスト○ 授業課題(ワークシートや作文課題等)○ 発表や話し合い活動、グループワーク
主体的に学習に取り組む態度	知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているか。	<ul style="list-style-type: none">○ 提出課題○ 発言やグループワークの取り組み等※ 「知識・技能」や「思考・判断・表現」の観点の状況を踏まえた上で評価を行う。

4. 「確かな学力」のためのアドバイス

- (1) 自分の力で文章をきちんと読む習慣をつけましょう。本や新聞を読んで、文章に慣れ親しんでおくことも大切です。
- (2) 漢字ノートで漢字練習を行い、正しい使い方を身につけましょう。わからない言葉の意味は辞書で調べ、語彙を増やし、普段から話や文章の中で積極的に使うことを意識してください。
- (3) 学習ワークで内容を振り返りましょう。間違ってもいいので、自分の力で問題を解く努力をし、赤ペンを使って丁寧に答え合わせをしてください。間違えたところは、なぜその回答になるのかを確認してください。
- (4) どのような課題に対しても、諦めずに取り組みましょう。粘り強く取り組むことが必要です。